



戯曲講座「せりふ書いてみる?」

受講生作品 リーディング公演

- 作／2005年度戯曲講座受講生
- 構成・総合演出／永山智行
- 企画・制作／三股町立文化会館

004年、門川と宮崎と三股ではじめて開催された戯曲講座「せりふ書いてみる?」。2004年に引き続き、昨年度もまたこの講座で三股に6つの作品が生まれました。その6作品をリーディング作品として上演します。

日時／2006年5月21日(日)

場所／三股町立文化会館

- プログラムA／13:30～
- プログラムB／16:30～
(開場は開演の20分前です)
- 料金：[一 般] ¥1,000※中学生以上
[セット券] ¥1,500

全 席 自 由
◎お問合せ・チケット販売／三股町立文化会館 0986-51-3462

「戯曲」って？
演劇の台本は、文学的な分類としては「戯曲」と呼ばれます。詩や小説にも劣らない美しい言葉や物語性などが、「戯曲」の中にはたっぷり詰まっています。

「リーディング」って？
欧米では古くから行われてきた上演形式で、俳優が椅子に座り台本を読みます。多くの場合は装置もなく、声によってすべてが表現されるので、観客は自由に想像力を膨らませることができます。

Program A (上演時間:90分)

『九月の蟬』 [作:永吉厚子]
演出／飯屋園修太(劇団LOKE)
出演／劇団LOKE

『箱を開けて』 [作:川畑 翔]
演出／永山智行(劇団こふく劇場)
出演／劇団こふく劇場

『また、あした』 [作:渡邊真美]
演出／純原達朗(劇団SPC)
出演／森英子・日土貴之・檜山明子・伊藤宗之
(以上・劇団SPC)

Program B (上演時間:90分)

『DISTANCE-海に行く日』 [作:森永明男]
演出／島田佳代(演劇集団非常口)
出演／岡村美枝・砂坂公明・赤嶺麻好・元田久子
(以上・演劇集団非常口)

『ララバイ(子守唄)』 [作:愛甲幸子]
演出／黒木朋子(劇団220)
出演／劇団220

『そこにあるしあわせ』 [作:小水流美紀]
演出／永山智行(劇団こふく劇場)
出演／神水流しん子・ゆの・山室晋伍(以上・劇団25馬力)

ピアノ演奏／申村大介

◇上演終了後のおまけ 「ポスト・パフォーマンス・トーク」
各回の終演後、作家と演出家、さらに出演者を交えてそれぞれの「戯曲」について語りあいます。この際、訊いておきたいアノことや、ガツンと言っておきたいコノこと、そんなもやもやをお持ちのみなさんは是非どうぞ。



主催／三股町、三股町教育委員会

新人劇作家6人×宮崎・鹿児島 の6劇団+ピアニスト1人 お気に入りにはきっとここに…。

例えば、お気に入りのシャツやバッグ、スニーカー、アクセサリ…。そんなものを持つように、お気に入りの小説や詩、音楽、映画などを持つことは、その人生をきっと豊かにしてくれるでしょう。

昨年に引き続き、今年2月、三股町にまた新しい6人の劇作家が生まれました。半年余りの戯曲講座で、受講生6人が6つの作品を書き上げたのです。

そして今度は、宮崎と鹿児島との6劇団、そして1人のピアニストが、できたてほやほやのこの新作たちをリーディング形式で上演します。

まるでカタログを眺めるようなこの公演で、お気に入りの劇作家、演出家、俳優をぜひ見つけてください。きっと、その分だけ、人生が豊かになるはずですから。

永山智行(戯曲講座講師・総合演出・劇団こふく劇場)

劇作家プロフィール



永吉厚子
Profile
加治木町生まれ
職業／セブー工部局ナイトセクター勤務
好きな作家／山本周五郎

Atsuko Nagayoshi



川畑 翔
Profile
1989年東京都生まれ
学生
創作料理が趣味

Tsubasa Kawabata



渡邊真美
Profile
1969年日向市生まれの宮崎市育ち
職業／パチのおぼろさん
好きな作家／大塚浩

Mami Watanabe



森永明男
Profile
宮崎市出身、郡城市育ち、三股町在住
職業／会社員
好きな小説／川上弘美・神様

Akio Morinaga



愛甲幸子
Profile
1969年三股町生まれ
職業／幼児教育
年齢のわりに何でもやりたいがり

Kouko Aikou



小水流美紀
Profile
小林市在住(福岡)・普通の事務員
苦手な事／自己紹介

Miki Kozuru

劇団プロフィール

劇団LOKE from鹿児島県鹿児島市

2002年2月に鹿児島高校の演劇部卒業生のみで旗揚げ。現在ではOBという枠を完全に振り払い、他校演劇部の出身者や演劇未経験者も大切な仲間として加わり、鹿児島市内で活動している劇団。2006年4月に節目となる第10回公演「タイムリーあるいは追憶の海」を上演。年に二回のペースで公演をしているが、第11回公演にむけて書き下ろしの新作を制作中。 <http://www.15.plala.or.jp/loke>

劇団こふく劇場 from宮崎県・三股町・門川町

1990年4月、活動をはじめ。以後、永山智行の作品を中心に、福岡や東京でも公演を続け、『空の月、胸の石』(1995)、『北へ帰る』(1996)は、それぞれ日本劇作家協会優秀新人戯曲賞の最終候補となる。2002年には、『やがて父となる』で、東京国際芸術祭リージョナルシアターシリーズに参加した。現在、宮崎県内の二つの公立文化施設(三股町立文化会館と門川町総合文化会館)を拠点とし、幅広く活動を続けている。 <http://www.cofuku.com/>

劇団SPC from宮崎県宮崎市

毎年公演を地道に行ってきた宮崎市内のアマチュア劇団。初演は1983年「もう一人の君へ」(如月小春作)。団員は創立時のメンバー(今た数名現役!)から20代の新人までかき集めれば15名前後は必ずです。作品のジャンルとしては「わかりやすく楽しめる作品」をやっております。なぜなら、小難しい作品は団員が理解できないからです(笑)過去、ミュージカル作品にも挑戦したこともありましたがダンスがどうしても盆踊りのレベルから向上せず現在は「禁し手」となっております(傷)。近年はコメディ路線にも挑戦し「目指せ!ドリフターズ」を合言葉に頑張りました。詳しくは劇団のHPをご覧ください! <http://gekidanspc.fc2web.com>

演劇集団非常口 from鹿児島県大口市

2001年、大口明光学園演劇部OBを中心に旗揚げ。主に大口市・変川町で活動中。近年では、年2回の自主公演以外に、市主催のイベントへの参加や、中学校公演を行うなど活動の場を広げている。現在、メンバーは8名。噓めば嘘もほど味の出るスルメ系演劇を目指す。 <http://go-go-exist.hustle.ne.jp/home.html>

劇団220 from宮崎県宮崎市

1984年に旗揚げし20年を迎えた。現在20代から40代の20人ほどで活動。一昨年12月に第19回公演「GOOD MAN」を上演。コメディタッチの作品を中心に年一回のペースで公演している。 <http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~k-ken/index.html>

劇団25馬力 from宮崎県小林市

全国優勝の小林青年演劇隊を母体として、2001年5月に旗揚げ、以後小林市を中心に活動をはじめ。これまでの公演作品に、『one!』(2001年・作・柚木よう子/演出・岩崎小愛)、『カレーの王様』(2001年・作・演出 岩崎小愛)、『だから、笑って』(2002年・作・演出/神水流知美)、『檻(三部作)』(2002年/作・柚木よう子、じんこ、ザ・ゴールデンズ)、『しやわせの近道』(2003年・作・ゆの)、『教室』(2005年・作・門田博三 演出・宮島慎吾)などがある。現在、より地域に密着し、幅広い世代で演劇を楽しむ事を目的に活動中。 <http://miyazaki.cool.ne.jp/gekidan-25banki/>